

# 六ヶ所再処理 Q&A

※ くわしくは「再処理 岩手の環境」検索を!

Q1 どこから放射能を流しているの?

A 青森県六ヶ所村(下北半島太平洋岸)にある(株)日本原燃再処理工場から。

Q2 なぜ流すの?

A 「再処理」で出る放射性廃液をためておく4つの600t入りタンクが満杯になるともう入れ場所がないので海に捨ててるんだよ。07年度には約70回流した。

Q3 「再処理」って何?

A 全国に50基以上ある原発から出る燃料の燃えカスを切り刻んでから濃硝酸で煮溶かして、ウランとプルトニウムをとりだすこと。

Q4 あ、それテレビのCMの「リサイクル」だね?

A でも燃えカスが100t中プルトニウム1t、後は再利用困難なウラン96トン残りは死の灰。プルトニウムは再利用の計画が未だはっきりしていないんだ。

Q5 じゃあ再処理を始める前にそれを燃やせばいいじゃない?

A ウランもプルトニウムも爆発させると原爆だよ。原発は制御しながらゆっくり燃やすという違いがあるだけ。プルトニウムを燃やすのはウランを燃やすのよりもっと危険で、全国のどこの原発が建っている自治体もいやがっているよ。

Q6 じゃあ再処理ってあまりメリットがないね。

A メリットがないというより100%デメリットしかないよ。再処理で出る廃ガスや廃液を空気や海に流して、お米や野菜やお魚や海藻の大切な産地を放射能で汚染するだけだもん。

Q7 そんなこと何か法律で取り締まっていけないの?

A それが何にも法律がない。

Q8 法律がなくたってしてはいけないことはしてはいけないよね・・・

A 日本原燃も経産省も、大量の海水で薄まるからだいじょうぶって言うてる。

Q9 海は広いもんね・・・

A 待って!薄まるといったって、海藻をプランクトンが食べて、小魚がプランクトンを食べて、大魚が小魚を食べて・・・と繰り返す間に、放射能はどんどん濃縮されていくよ。たまたま放射性物質をとりこんだ魚を食べたり、サーフィンや海水浴をしていて体の中に放射性物質が入ると体内被曝が続くことになるよ。

Q10 体内被曝?

A 放射線を発する物質(放射性線を出す原子)が体内に入ると体内ですずっと放射線を発し続けるんだ。始末に終えないことにながーい間ね。出す放射線の量が半分になる年数を半減期って言って、原子によって違うんだけど、長いものになると2万4千年!広島市内に、原爆が落とされてから何日も経ってから家族を捜しに、また死体を片付けに入った人が、8月6日に被曝した人と同じ症状で亡くなったりいまだに苦しんでいらっしやる・・・というのもこの体内被曝のせい。

Q11 へえ、そうなんだ・・・もう被害が出てるの?

A イギリスのセラフィールド再処理工場周辺で例えば子どもの白血病が増える。政府は因果関係を否定しているけど。因果関係がはっきりしたときはもう遅いとおもうよ。DNAの損傷は取り返しがつかないって、多摩市にお住まいの高名な生命科学者柳澤桂子さんが著書『いのちと放射能』の中でほんとうに心配しているよ。

Q12 再処理をやめると何か困ることがあるの?

A 困らない。原発の燃えカスは再処理をしないで永久保管すればいい。そうすれば余計な放射性廃液が出ないよ。ちなみに「埋め立て」じゃなく「保管」が要るのは容器が腐食したり地震があったとき管理ができるようにということ。